

## 【建設ニュース有料会員】

建設ニュースは最新の建築計画や不動産売買を独自に取材し  
毎日配信する新しい不動産・建設専門メディアです

『建設ニュース有料会員』は、不動産や民間工事などの記事を毎日配信する不動産・建設専門メディア『建設ニュース』の全記事をお読みいただけます。最新の記事だけでなく、これまでに掲載されたすべての記事を閲覧できます。建築計画や不動産売買などの情報に加えて、建築確認や中高層、建設リサイクルなどの届出情報も有料会員向け記事として配信、市場分析や営業ツールとして活用いただけます。

### 【特徴1】毎日届く最新の記事が読み放題

建設ニュースは、不動産、官庁、民間、経営、届出の5分野の記事を提供していますが、このうち不動産、民間、届出の3分野は大部分の記事が有料会員向けとなっています。不動産や民間建築の情報を活用したい場合、有料会員をお薦めします。

現在は1か月当たり300本程度の記事を配信していますが、このうち約3分の2が有料会員向けとなっています。有料会員は最新の記事だけでなく、2013年12月のサイト開始からこれまでに掲載されたすべての記事を閲覧できます。

### 【特徴2】現場取材を重視

記事の対象は関西の2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）で、建築工事が活発な都市部を中心に情報を集めています。

主な情報源は、建築確認申請などの届出情報、現地取材、独自取材、企業や読者などからの情報提供で、実際に現地を取材する「現場主義」を大切にしています。

### 【特徴3】見やすさにこだわったデザイン、独自の分類で必要な記事に素早くリーチ

『建設ニュース』サイトは、白を基調としたシンプルなデザインとともに、読者の使いやすさにこだわって設計されています。トップ記事を見やすくビジュアルに配置しているほか、広告の量を抑えて記事重視のデザインを採用しています。

記事は不動産、官庁、民間、経営、届出の5分野のジャンル別のほか、建物用途別、エリア別に分かりやすく分類しています。これによって、読みたい記事に素早くたどり着け、効率的に情報を収集できます。

### 【特徴4】スマートフォンにも対応、通勤中や外出先でも気になる案件をチェック

パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットにも対応しており、いつでもどこからでも気になる記事をお読みいただけます。業界新聞の場合、会社に行かないと読めないという

課題がありましたが、インターネット配信の『建設ニュース』は通勤中や外出先からでも気になる案件をチェックできるため、外出が多い営業マンなどに特にお薦めです。

また、検索機能を使えば、「そういえば、あの案件はどこに決まったかな」などの疑問を外出先で調べることも可能で、貴重なビジネスチャンスを逃しません。スマートフォンもパソコン版と同じすべての機能を利用できます。

**【サービス利用料】**

月額 2,000円/月(税別)

年間 20,000円/年(税別)

「法人パック」最大20端末まで同時利用可能

月額 10,000円/月(税別)

年間 100,000円/年(税別)